

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0801
 住 所 川崎市川崎区鈴木町1番2号
 氏 名 味の素ファインテクノ株式会社 印
 代表取締役社長 岸本 信一
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	味の素ファインテクノ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区鈴木町1番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	機能化学品, 電子材料の開発・製造・販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,456	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	環境安全グループ
		所在地	川崎市川崎区鈴木町1番2号
		電話番号	044-221-2376
		FAX番号	044-221-2388
		メールアドレス	webmaster@aft-website.com
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度～平成24年度（報告年度 平成23年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号および第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号および第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号および第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号および第3号のとおり
備考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況(排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 2,924 t-CO ₂ (調) 2,533	(実) 3,207 t-CO ₂ (調) 2,804	(実) 2,727 t-CO ₂ (調) 2,398	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 2,924 t-CO ₂ (調) 0
削減率		(実) -9.7 % (調) -10.7	(実) 6.7 % (調) 5.3	(実) % (調)	(実) 0.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO ₂ /ton	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	3.679	3.735	3.366		3.097
削減率		-1.5 %	8.5 %	%	15.8 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	各種省エネ対策を実施したものの、気温上昇による電力消費量が増えたことでエネルギー使用量、原単位とも悪化した。
第2年度	各種省エネ対策の実施、生産調整によりエネルギー使用量が減少、生産量が減少したものの原単位も改善できた。 夜間休日時に工場空調を停止、8月に工場を停止、生産ラインの合理化、集約を行った結果、生産量が減少したものの、電力使用量の削減効果が大きかった。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	①エネルギー使用量の把握 ②熱機器の断熱性向上 ③換気回数の見直し ④電気抵抗による損失の防止 ⑤ブローワー、コンプレッサー運転の適正化 ⑥高輝度照明の利用 ⑦省エネの啓蒙
	第1年度	①電力監視システムにより工場毎の時間電力使用量、工場計器で蒸気使用量を把握している。 ⑦夏期、冬期の省エネキャンペーンを実施した。 環境教育ビデオを上映した。
	第2年度	計画②蒸気トラップの作動状況確認を継続した。 計画③工場空調の季節による温度、運転状況による換気回数、風量の見直しを行った。 計画⑤ポンプ、ブローワー、試験機器、OA機器、エレベーター、自販機について、可能なものはインバータ化、停止できるものは停止、待機時間の短縮、使用制限をした。 計画⑥個別、ブロック照明化、節電型照明へ交換、照明の間引きを実施した。 計画⑦省エネ啓蒙を継続、制服の見直し、屋上、道路、室外機への散水を行った。 その他：屋上、窓の断熱塗装を実施した。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	①従業員の通勤におけるマイカー使用禁止 ②使用する原材料の簡易包装、通い箱の使用 ③運送業者に対する低燃費車使用やエコドライブ実施の要請 ④廃棄物の削減、減量化 ⑤従業員への環境教育の実施 ⑥ISO14001による環境改善活動の実施
第1年度	①マイカー使用禁止の継続した。 ③エコドライブ実施の要請を推進した。 ④産業廃棄物の発生量を削減した。 ⑤省エネについて従業員教育を実施した。
第2年度	①計画①～⑥を実施した。 その他 ①夏期連続休暇により工場を休止した。 ②生産の合理化により生産ラインを集約した。 ③服装自由化により空調の使用を抑えた。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	2,563	t-CO ₂
(調)	2,559	

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
本社工場	川崎市川崎区鈴木町1番2号	1639	その他の有機化学工業製品製造業	2,563 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--